

第12次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

平成6(1994)年5月16日～7月18日

だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

- 所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ311番
調査面積 580㎡
調査原因 深耕事業(天地返し)に伴う
主な遺構 方形周溝墓3基・住居址2軒・土壇3基
主な遺物 弥生土器(壺形土器 3点)・石鏃1点・滑石製管玉1点・石器類700点・シカの歯・炭化種子
特記事項 方形周溝墓2号は東西16.5m、南北16mほどの規模をもち、溝の最大幅は2.4m、深さ約1mを超える部分もある。3号は東西17.2m、南北17mの規模をもち、溝の最大幅は2.5m、深さは1.2mほどである。中央部南側に楕円形の長軸2.7m、短軸1.5mの主体部を検出し、中から僅に宮ノ台式土器片が出土している。弥生時代の遺物以外に3号周溝墓区域から旧石器時代の削器と思われる石器3点と多数のチップ・フレイク・礫を検出している。(参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第20集・2009年3月』)



2号方形周溝墓の完掘状況。このお墓の発見により、赤坂遺跡の墓域が分かる結果となった。(所蔵：三浦市教育委員会)



3号方形周溝墓(所蔵：三浦市教育委員会)



**方形周溝墓の溝より検出された壺形土器
(所蔵：三浦市教育委員会)**